

2017年8月8日

2017年臨時議会議案質疑（1問1答）

23番 日本共産党 齊藤 由美子

日本共産党の齊藤ゆみこです。発言通告に沿って、一問一答で質問を致します。

1. 議第62号 平成29年度大分市一般会計補正予算(第2号)について

この度、「中心市街地のより一層の活性化を図るための回遊性や滞留性の確保」「多くの人が集える祝祭の演出」「魅力ある美しい都市景観の形成に寄与する」ことを目的に、大分市がパルコ跡地を取得する議案が出されました。

これまで、大分駅周辺総合整備事業により、大分の玄関口が県都の顔としてふさわしく生まれ変わったとの声上がる一方で、中央町や府内町側の人の流れが一層少なくなっているとの声も聞かれます。

大分の中心市街地に、緑があり、人が集える場所を確保することは喜ばしいことだと思います。しかし、このパルコ跡地を祝祭広場にすることで、本当に回遊性が高まるのか、どれほどの滞留性が確保できるのか、今回その根拠は示されていません。

多くの商店街の皆さんにとっては、その広場に集まった方々が、その先の府内5番街やガレリア竹町、セントポルタ中央町まで足を伸ばして下さるかどうか、それが一番の課題なのではないでしょうか。そこで質問いたします。

① 「中心市街地のより一層の活性化を図るための回遊性や滞留性の確保」とは、どれくらいの範囲で検討されていることなのでしょうか、お聞かせください。

② 若草公園・府内アクアパークを始め、大手公園・遊歩公園・ジャングル公園など、既存の公園を居心地良く再整備することこそ、広範囲で回遊性・滞留性を高め、多くの人が集える場所が創出できるのではないかと考えますが、見解をお聞かせください。

パルコ跡地は、中心市街地の1丁目1番地、まさに大分の顔ともいえる一等地であり、大分市が取得することについては、賛成・反対様々なご意見をうかがっています。しかし、競争入札に参加するか

どうかの期限が迫っており、十分な意見集約や検討を行う時間は残されていません。バタバタと土地を購入することになり、その後の市の財政に影響を及ぼすことはないのか、大きな不安が残ります。

特に中心市街地においては、碩田校区の学校統廃合によって、地域コミュニティの核である学校、災害時の重要な避難所ともなる学校を身近な地域から奪うことになりました。しかしその際、荷揚町小学校、中島小学校は、地域の願いを十分に聞き入れ、自治会や子育て支援、防災施設としての機能を兼ね備え、再整備する方向で検討されていると思います。

今回、土地の取得を行えば、多額の基金を使うことになります。そのことによって、今後の公共施設の整備が遅れたり、安普請になったりするようでは本末転倒です。そこで質問いたします。

- ③ この土地の取得が、今後計画されている荷揚町小学校跡地などへの施設整備に、影響を及ぼすことは全くないと言えるのか、見解をお聞かせください。

## 2. 議第67号 高規格救急自動車の購入について

大分市における救急車の出動件数は、2013年の15,929件から年々増加を続け、昨年2017年では18,749件となっています。現在、大分市に配備されている高規格救急車を含む救急車は、大分市全域で合計15台とのことですが、今回の購入も買換えのための議案であります。しかしながら、48万市民の命を守る救急車が全域15台で十分なのかどうか、市民の安全を担保していると言えるのかどうか、現在の配備状況について検証を行なうべきではないでしょうか。そこで質問いたします。

- ④ 今後、災害時の対応や高齢化、在宅医療の増加などを踏まえると、救急車の増台を検討すべきではないかと考えます。見解をお聞かせください。